

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和1年5月16日(2019.5.16)

【公表番号】特表2018-525659(P2018-525659A)

【公表日】平成30年9月6日(2018.9.6)

【年通号数】公開・登録公報2018-034

【出願番号】特願2017-566644(P2017-566644)

【国際特許分類】

G 03 H 1/00 (2006.01)

【F I】

G 03 H 1/00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成31年4月2日(2019.4.2)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0052

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0052】

レーザ光源110は、(一または複数の)レーザビーム(例えば少なくとも1Wのレーザビーム)を生成する。レーザ光源110は、(一または複数の)レーザビームをLCOS-SLM112に導く。LCOS-SLM112は、プロセッサ114からの信号データに基づいて入射レーザビーム(例えば、レーザ光源110からのレーザ光)を、生成反射光(例えば変調レーザ光)に変調する。LCOS-SLM112からの変調されたレーザ光は、ホログラフィック波面を形成する。ホログラフィック波面の建設的干渉点で熱が形成される。入射レーザビームの変調、入射レーザビームの数、レーザビームの強度および方向などを調整することにより、熱を成形、制御および操作することができる。熱は、3次元プリントイングのためのターゲット材料における特定の3次元領域を硬化するために利用することができる。すなわち、空間光変調器に表された1つ以上のホログラムを制御することにより、加熱領域の形状を制御することができる。いくつかの実施形態では、空間光変調器は、受信光を少なくとも1つの対応焦点に導くために、少なくとも1つの位相限定レンズを与えるように構成される。いくつかの実施形態では、空間光変調器は、対応焦点を制御可能に位置づけるために、少なくとも1つの位相限定レンズと、少なくとも1つの対応する回折格子とを与えるように構成される。